| 学校番号 | ４０５ |
|---|---|

# 令和８年度　美術科

| 教科 | 美術 | 科目 | (学)工芸演習 | 単位数 | 2単位 | 年次 | 2年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | ・副読本「工芸１」（日本文教出版） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

工芸の創造活動を通して美的体験を豊かにし、表現と鑑賞の能力を伸ばすと共に、生活を豊かにする為に工夫する態度を育て、工芸を愛好する心情を養う。

2　学習の到達目標

・　知識及び技能：
　材料、技法、構造及び手順を考えた構想。
　生活と工芸の関連の知識。
・　思考力、判断力、表現力等：
　目的や条件を基にした主題の把握。デザインの工夫、吟味。
・　学びに向かう力、人間性等：
　生活を意識した「ものづくり」で、社会や文化を学び、生涯を通して工芸を愛する心を養う。
　他者の理解、協調性を持って行動し、互いに高め合い成長する心を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 趣旨 | ・工芸の役割、必要性を理解し、「ものづくり」の気持ちを持って　制作に当たる。<br>・素材の理解、用具の使用法を生かした技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 | ・使う人の立場になって目的を見出し、ものづくりする力を身につけている。<br>・目的や機能、美しさなどから主題を生成し、デザイン表現の構想を練っている。<br>・工芸作品についての表現方法を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 | ・「ものづくり」の喜びを味わい、生活・自然・社会に関わる中で、多様な表現方法や文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。<br>・他者への理解、協調性を持って行動し、互いに高め合い成長している。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 題材の評価基準（一部） | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知（a） | 思（b） | 主（c） |
| 1学期 | 木工① | 【鑑賞】<br>ガイダンス<br>・年間計画<br><br>【木工】<br>・木材、木工の理論<br>・カトラリー制作<br>スプーン、ナイフ | c：工芸のものづくりの表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。（取り組む態度）<br>a：木材・素材の知識を得、道具を機能的に使用し作品を制作する。(知識･技術)<br>b：目的や機能、美しさなどから主題を生成し、デザイン表現の構想を練っている。<br>c：他者の作品の意図や表現の工夫を感じ取り、他者の作品から表現の工夫など参考にする。（取り組む態度） | ・作品点<br>（技術的観点）<br>・ワークシート | ・作品点<br>（創造的観点）<br>・ワークシート | ・学習活動の様子<br>・制作の様子<br>・ワークシート |
| | 木工② | 【木工】<br>・キャラクターデザイン<br>動物 | a：木材・素材の知識を得、電動ノコギリを機能的に使用し作品を制作する。(知識･技術)<br>b：主題にあったキャラクターデザインをし、構想を練って木工作品として生成する。<br>c：他者の作品の意図や表現の工夫を感じ取り、他者の作品から表現の工夫など参考にする。（取り組む態度） | ・作品点<br>（技術的観点）<br>・ワークシート | ・作品点<br>（創造的観点）<br>・ワークシート | ・学習活動の様子<br>・制作の様子<br>・ワークシート |
| 2学期 | 展覧会鑑賞 | 【鑑賞】<br>・高校展鑑賞<br>鑑賞レポート提出 | b：作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かす。（鑑賞）<br>c：高校生の作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。（取り組む態度） | | 鑑賞ワークシート | 鑑賞ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 陶芸① | 【陶芸】<br>・陶芸についての理論<br>・「手びねり」<br>ろくろを使って、ひもづくりの陶芸作品を制作する。 | a:陶芸・素材の知識を得、道具を機能的に使用し作品を制作する。<br>(知識･技術)<br>a:制作手順(成形、釉掛け、焼成）を理解し、丁寧な作業ができている。<br>(知識･技術)<br>b: 目的や機能、美しさなどから主題を生成し、デザイン表現の構想を練っている。<br>c: 他者の作品の意図や表現の工夫を感じ取り、他者の作品から表現の工夫など参考にする。(取り組む態度) | ・作品点<br>(技術的観点)<br>・ワークシート | ・作品点<br>(創造的観点)<br>・ワークシート | ・学習活動の様子<br>・制作の様子<br>・ワークシート |
| | 展覧会運営・鑑賞 | 【鑑賞】<br>・アートスタジアム運営・展示<br>鑑賞レポート提出 | c:展覧会の運営を皆と協力しながら実行している。(取り組む態度)<br>自校の生徒作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。<br>(鑑賞) | | | ・展示運営の様子<br>・ワークシート |
| 3学期 | 陶芸② | 【陶芸】<br>・陶芸についての理論<br>・「たたら」<br>板状の状態からの陶芸作品を制作する。 | a:たたら製法で、制作手順（成形、釉掛け、絵付け、焼成）を経て、丁寧な作業ができている。<br>(知識･技術)<br>b:目的や機能、美しさなどから主題を生成し、デザイン表現の構想を練っている。<br>c:他者の作品の意図や表現の工夫を感じ取り、他者の作品から表現の工夫など参考にする。(取り組む態度) | ・作品点<br>(技術的観点)<br>・ワークシート | ・作品点<br>(創造的観点)<br>・ワークシート | ・学習活動の様子<br>・制作の様子<br>・ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 皮工芸(レザークラフト) | 【皮工芸<br>(レザークラフト)】<br><br>・キーケース制作<br>皮を使ってキーケースの形を成形し、刻印を入れることでデザインする。 | a:皮素材の知識を得、刻印の道具を機能的に使用し作品を制作する。<br>(知識･技術)<br>b:目的や機能、美しさなどから主題を生成し、デザイン表現の構想を練っている。<br>c:他者の作品の意図や表現の工夫を感じ取り、他者の作品から表現の工夫など参考にする。(取り組む態度) | ・作品点<br>(技術的観点)<br>・ワークシート | ・作品点<br>(創造的観点)<br>・ワークシート | ・学習活動の様子<br>・制作の様子<br>・合評の様子<br>・ワークシート |

※表中の観点について、a:知識・技能、b:思考・判断・表現、c:主体的に学習に取り組む態度